

6. つり活動【所要時間 95分～170分 150名 25班】

(1) ねらい 古牟岐港でのつり活動を通して、つりの醍醐味を味わい、人と自然とのかかわりあいに関心をもつとともに、地域のくらしにふれさせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：つり活動がしやすい服装，つり竿（持参用可），カップ
- 引率者：救急薬品，班編制（6名程度が望ましい）
- 所員：ハンドマイク，つり道具，バケツ，救命具，業務用無線エサ（所で用意するが実費負担）

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 活動前に用便をすませ，集合させる。
- 季節と日射病との関係を考慮した服装に配慮させる。
- 引率者の役割分担（本部，指導係，監視係，保健係，連絡係等）を明確にし，所員との実施上の連絡を密にする。
- 活動中，細心の警戒を怠らないようにし，子どもたちの安全について，あらゆる角度から注意する。
- 大堤防，テトラポットの上には絶対行かせない。
- 危険な魚（ゴンズイ，ハオコゼ，アイゴ等）が見つれた時は自然の家の所員に連絡する。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼，健康観察をする。	5	●体調の悪い時には，引率者に申し出る。	●つどいの広場 (オリエンテーション室)
2. 説明を聞き用具を受けとる。	15	●用具の扱い方，禁止・注意事項等徹底する。 ●魚の生態，水温，潮流，潮の干満等について知る。	●つり竿 ●バケツ ●エサ
3. 移動する。	5	●移動の際には安全な通行と，漁港の漁具をいためない。	●古牟岐港
4. 魚つりをする。	40 ） 115	●となりの人に注意しながらつる。 ●つり竿の扱い方に注意する。 ●予定の時間が来たら，一斉につりをやめる。	●救急薬品 ●ハンドマイク ●救命具
5. つり場を美しく清掃する。	5	●残りエサは，突堤等に残さないよう，美しく清掃し，つり人のマナーを知る。	

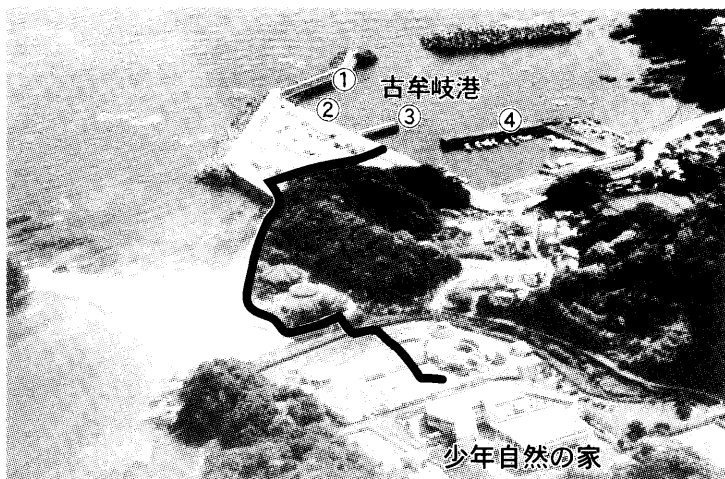
6. 集合, 点呼をする。	20	● 用具の点検と魚の名前を知る。	● 突堤等
7. つり活動後のまとめをする。			
8. 移動する。	5	● 安全に気をつけて, ふれあい広場に移動する。	● ふれあい広場
9. つり用具を整理場所に返す。		● つり竿等の用具を, 水洗いした後, 所定の場所に返却する。 ● つり具の点検を確実にするとともに, 不備なつり竿は所定の場所に置く。	

※実費負担額 エサ代 約20人でオキアミ 1 個 (実費250円)

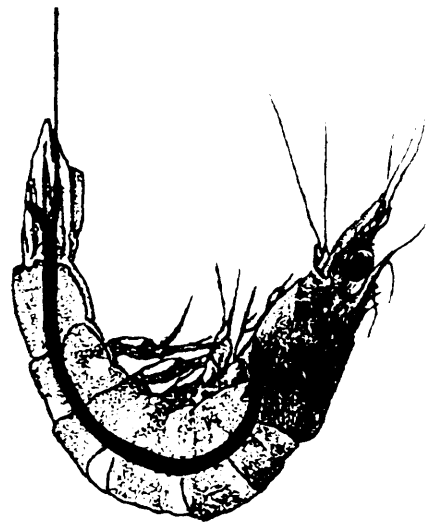
資 料

つ り 活 動

魚つり場 (①②③④突堤)



エサのつけ方



尾からはりをさして,
はりが見えないようにする。